

I マテリアリティと取り組みの方向性

マテリアリティ		取り組みの方向性
E	① 持続可能な環境配慮型社会の実現	事業活動が環境に及ぼす影響と環境から受ける影響を十分に認識し、グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」に定める「3つの社会（脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会）」の実現と、「2つの個別課題（森林資源・森林環境、水資源・水環境）」の解決を目指します。
	② 品質の確保と技術の向上	先進的で社会のニーズを先取りした技術の研究・開発を推進するとともに、品質マネジメントシステムを改善・向上することにより、顧客や社会に対し、高品質の建設生産物・関連サービスを効率的かつ継続的に提供します。
	③ 持続可能な社会の実現に向けた技術開発	サステナビリティの観点から社会課題の解決につながる技術や、イノベーションを追求して新しい事業や市場を創出するための技術、品質・生産性・安全性の向上に寄与する技術等を継続的に開発し、持続可能な社会の実現に貢献します。
	④ サプライチェーン・マネジメントの推進	全ての取引先を重要なビジネスパートナーと認識し、サプライチェーン全体で事業を通じた環境課題・社会課題の解決への取り組みを推進することにより、取引先との共存共栄を構築し、社会に貢献し、信頼される企業グループを目指します。
S	⑤ 労働安全衛生管理の徹底	「安全第一主義」の下、グループ及び取引先が培った管理技術と安全に対する熱意を結集し、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業グループを目指します。
	⑥ 技術者の育成・担い手の確保	「人財」を最大の経営資源と捉え、多様な人財の採用と計画的な育成・配置により、各分野においてプロフェッショナルな人財の能力・成長の最大化を目指します。また、取引先に対する労働環境・待遇の改善や支援の拡充により、将来の建設業を支える建設技能労働者等の育成・確保を図ります。
	⑦ 働きがいのある魅力的な職場環境の実現	ダイバーシティ経営の実現に向けて、多様な人財がその能力を最大限発揮できる職場環境を整備するとともに、多様な働き方を尊重し、生産性向上を図ることにより、ワーク・ライフ・ハーモニー（仕事と生活の調和）の実現を目指します。
G	⑧ コンプライアンスの徹底 グループガバナンス体制の再構築	法令等を遵守し、社会的良識をもって行動することにより、社会的責任を遂行します。【TAISEI VISION 2030】の実現に向けて、グループ一体で取り組む体制を整備し、シナジー最大化によるグループ全体の企業価値向上、持続的成長を目指します。